

## ▼エカード配合錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 カンデサルタンシレキセチル+ヒドロクロロチアジド candesartan cilexetil+hydrochlorothiazide 【分類】 持続性ARB/利尿薬合剤

【単位】 ▼LD (カンデサルタン 4mg+ヒドロクロロチアジド 6.25mg), ▼HD (カンデサルタン 8mg+ヒドロクロロチアジド 6.25mg)

【常用量】 LD, HD とも 1錠/日

【用法】 分1 (カンデサルタンで効果不十分な場合に選択)

【透析患者への投与方法】 投与禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Scr 2.0mg/dL を超える場合には使用を避ける (1)

【特徴】 カンデサルタンシレキセチルとドクロロチアジドとの配合剤。サイアザイドの副作用を最小限にするため、ヒドロクロロチアジドの承認最小用量 25mg/日の 1/4 用量 (6.25mg/日) の配合剤となっている。Na 利尿による RA 系の亢進を ARB が抑制することにより相加的な降圧作用が期待できる。

【主な副作用・毒性】 血管浮腫, ショック, 失神, 急性腎不全, 血清電解質異常, 低血糖, ふらつき, 立ちくらみなど

【F】

【tmax】

【代謝】 カンデサルタンシレキセチルは小腸のカルボキシエステラーゼによってカンデサルタンに代謝され、カンデサルタンは CYP2C9 により M-2 に代謝される (1) M-2 は活性を有さない (1) ヒドロクロロチアジドはほとんど代謝されない (1)

【排泄】 カンデサルタンは主に糞便中に排泄される (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】 カンデサルタン 99%以上, ヒドロクロロチアジド 21~24% (1)

【Vd】 カンデサルタン 105L/man, ヒドロクロロチアジド 156L/man (1)

【透析性】 カンデサルタンは透析されない (1)

【OW 係数】

【更新日】 20150824

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。